

# セイタカスズムシソウ

*Liparis japonica* (Miq.) Maxim.  
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地、個体数ともに少ない。

## 分 布

国内分布は北海道～九州。県内分布は大野市、福井市。

## 種の特徴

山地の林内や草原に生える。偽球茎は卵形。葉は広楕円形、長さ6～12cm、幅3～5cm。花茎は20～30cm、淡緑色または淡紫緑色の花を10数個つける。萼片は線形、長さ9mm、側弁は糸状で萼片と同長、唇弁は倒卵形、長さ9～12mm、円頭、縁に細歯牙がある。

## 生育を脅かす要因

自然環境の変化、破壊、植生の遷移等。

参考文献 大橋広好ほか(2015)、畔上能力ほか(2013)、前川文夫(1971)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	○

# ジガバチソウ

*Liparis krameri* Franch. et Sav.  
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地、生育数ともに少ない。

## 分 布

国内分布は、北海道～九州。県内分布は、福井市、敦賀市。

## 種の特徴

山地の林縁等に生える。偽球茎は卵円形、葉は広卵形で先はやや尖り、長さ3～8cm、幅2～4cm。葉脈は明瞭。花茎は8～20cm、上部に数花～10数花をつける。花色は淡緑色。萼片は線形、長さ10～12mm、側弁は糸状で長さ8～10mm、反曲。唇弁の先は下垂。

## 生育を脅かす要因

山道の開発、環境の破壊、植生の遷移等。

参考文献 大橋広好ほか(2015)、畔上能力ほか(2013)、前川文夫(1971)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○											○

# スズムシソウ

*Liparis makinoana* Schltr.  
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地、生育数ともに少ない。

## 分 布

国内分布は、北海道～九州。県内分布は若狭町、福井市、坂井市。

## 種の特徴

冷温帯の林内に生える。茎の高さ10～20cmほど。葉は広楕円形で、セイタカスズムシソウに似るが、葉面の網状脈が明瞭である。花は淡暗紫色で長さ3cmほどの目立つ大きさで10個ほどを茎の上部につける。萼片は広線形、側弁は糸状、唇弁は倒卵形で円頭。

## 生育を脅かす要因

森林伐採等による生育環境の悪化。園芸採取等。

参考文献 大橋広好ほか(2015)、畔上能力ほか(2013)、前川文夫(1971)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○										○						○